

【Harmoware-Bioを活用した健康見守り】

課題 4-3:
名古屋大学 青木宏文

解決すべき課題

- ・新型コロナ感染症の早期発見，隔離，感染拡大防止
- ・外出自粛による運動不足で，特に高齢者のQOL低下，認知症や生活習慣病の進行恐れ

解決手段・方法

- ・携帯電話とウェアラブル端末による，行動および生体情報モニタリング

【適用されるHarmo-wareモジュール】

- ・ Harmoware-Bio（名古屋大学予防早期医療センター開発・運用中のスマホアプリ「マイページ」との連携により運動・食事・睡眠習慣改善提案の機能拡張可能）

得られる価値

- ・ スマホやウェアラブル端末を用いた健康・外出（運転）のパーソナルデータ収集・解析による遠隔個別化ケアシステム，家庭でできる健康維持，ライフスタイルソリューション提案

イメージ図



本技術のポテンシャル（有用性・国際的状況）

- ・ スマホとウェアラブル端末の同期・クラウド解析
- ・ 名古屋大学予防早期医療センターで既に試行中のスマホアプリ「マイページ」との連携によるフィードバック